



# IRIS BUSINESS

インタビューや事例記事、アイリスオーヤマの新製品情報など  
ビジネスにかかわる旬の情報、話題を取り上げます。

# Information

2023.5  
vol.26

## 「調和」というソリューション

[ INTERVIEW ]

「90年の歴史を継承・更新し、地域に愛されるオフィスビルに」

九段会館テラス 様 (東京都)

[ CASE STUDY ]

既存器具を活用したLED化と一貫体制で  
器具費用・施工費・廃棄費用の大幅削減を実現

東京スカイツリーイーストタワー<sup>®</sup> 様 (東京都)

[ NEXT ERA of Business ]

これからは我慢から“快適”に！  
2023年節電事情

webマガジンは  
こちら



# IRIS OHYAMA

写真：九段会館テラス 様 (東京都)

- 01 光のある風景  
「あしかがフラワーパーク」
- 02 COVER PHOTO  
九段会館テラス 様(東京都)  
新旧をシームレスに融合したレトロモダンなビル
- 03 INTERVIEW  
九段会館テラス 様(東京都)  
「90年の歴史を継承・更新し、地域に愛されるオフィスビルに」
- 05 CASE STUDY  
■東京スカイツリーイーストタワー® 様(東京都)  
既存器具を活用したLED化と一貫体制で  
器具費用・施工費・廃棄費用の大幅削減を実現  
■横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 様(神奈川県)  
アフターコロナに対応した人とロボットで共創する  
「ニューノーマルサービス」を実現  
■TIPSTAR DOME CHIBA 様(千葉県)  
施設用観覧席とLEDビジョンの複合提案による  
さらなるスタジアム演出の向上へ

- 07 NEXT ERA of Business  
これからは我慢から“快適”に!  
2023年節電事情
- 09 NEW PRODUCTS & TOPICS  
■既設の空調機に取り付けて30~70%の省エネ!  
「エネルギーセーバー」新発売  
■住宅用照明の省エネ化と省資源化が評価され  
2022年度省エネ大賞を受賞  
■配膳、運搬作業の業務改善に  
サービスロボット2機種を販売開始  
■映像演出やサイネージにも利用できる  
高輝度プロジェクターを新発売  
■飲酒運転の根絶を目指すために  
アルコール検知器協議会に加入  
■ロボットを使ってみたい!でも不安...という方に!  
「初めてのロボットお試しキャンペーン」
- 14 IRIS CHITOSE News!  
ハドラスホールディングス株式会社 様(東京都)  
「ピンチをチャンスに」  
アフターコロナを見据えたオフィス移転



栃木県足利市の「あしかがフラワーパーク」は、樹齢160年に及ぶ大藤と四季折々の花が楽しめるテーマパークです。1968年に栃木県足利市堀込町(現:朝倉町)に開園し、都市開発により1997年に現在の迫間町に移設。湿地帯だった移設場所の土壌浄化などを行ったことで、今では100,000㎡の敷地内に数多くの花々が咲き揃います。園のシンボルである600畳敷の大藤棚や世界でも貴重な八重の大藤棚など、さまざまな藤の花を堪能できる「ふじのはな物語」は、4月中旬から5月中旬に開催されます。日中の魅力はもちろん、ライトアップされた夜の大藤は日本夜景遺産に認定される美しさを誇ります。

### あしかがフラワーパーク

【所在地】 栃木県足利市迫間町607  
【アクセス】  
【車】  
東北自動車道より  
・佐野藤岡ICより、国道50号前橋・足利方面進行(約20分)  
北関東自動車道より  
・太田桐生ICより、国道122号経由、国道50号足利・小山方面進行(約25分)  
・足利ICより、国道293号経由、県道67号佐野方面進行(約20分)  
・佐野田沼ICより、県道16号経由、県道67号足利方面進行(約17分)  
・出流原スマートICより、県道175号足利方面進行(約15分)  
【公共交通機関】  
JR両毛線 あしかがフラワーパーク駅下車→徒歩約3分

## 新旧をシームレスに融合したレトロモダンなビル



### COVER PHOTO

#### 九段会館テラス 様(東京都)

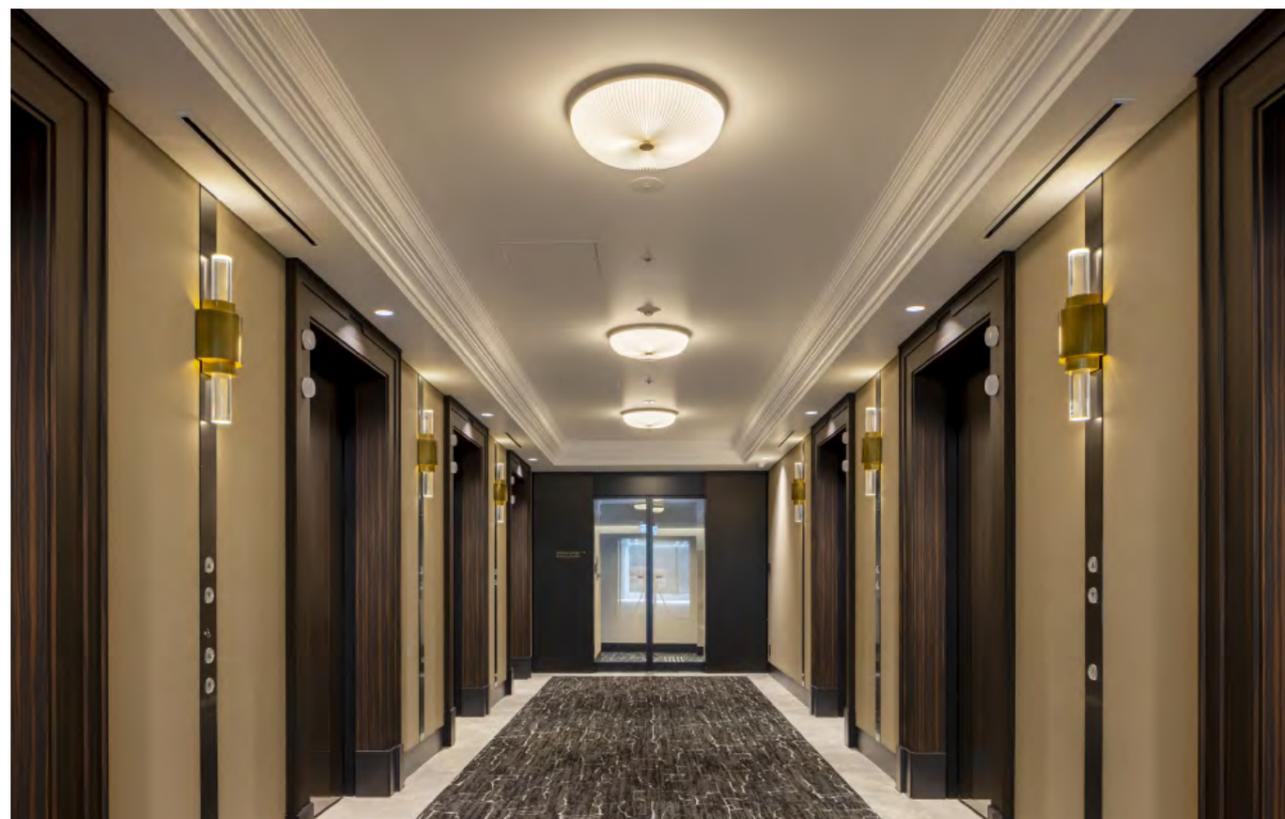
九段会館テラス 様は、1934年創建の登録有形文化財建造物である旧九段会館を保存・復原し、新たに地上17階の新築オフィス棟も加え、2022年秋に開業しました。施設コンセプトである「水辺に咲くレトロモダン」の通り、保存棟と新築棟からなる新旧融合した建物となっており、皇居のお濠に隣接する立地を生かし、施設内や周囲に緑地や遊歩道を設けるなど、都心にいながら自然が身近に感じられる施設となっています。長年、地域のシンボルとして親しまれてきた建物だけに、施設内で働くオフィスワーカーだけではなく、開業当初

から地域の方々にも利用されています。建物内は、施設利用者がメインエントランスのある保存棟から新築棟にシームレスな感覚で移動できるよう、随所に工夫が凝らされています。新旧の建物を明確に分けず、空間デザインやマテリアルが徐々に移行するように、細部まで気が配られています。建物の保存・復原にあたっては、創建当時の姿を蘇らせるという命題のもと、昔の白黒写真や絵はがきなどの資料を収集し、修復の参考にするなど、丁寧に計画が進められました。また、解体時には塗り重ねられた壁の下から創建当時

の素材や模様が見つかり、その都度保存・復原できないか検討が重ねられました。現場の職人からの意見も取り入れられ、現在でも実現可能な工法や素材を採用するなど、かつての意匠を取り戻すことを目指されました。アイリスオーヤマではエレベーターホールや通路などの照明器具製作・納品を手がけました。照明器具の意匠を復原、または建築コンセプトに沿って新たに開発するなど、創建当時の建築意匠を取り戻すという計画のもと照明器具の製作・納品を進めました。

# 90年の歴史を継承・更新し、地域に愛されるオフィスビルに

九段会館テラス 様（東京都）



2022年10月1日に開業した「九段会館テラス」。東急不動産と鹿島建設による登録有形文化財・旧九段会館の保存・復原プロジェクトにより生まれた複合施設で、旧九段会館の創建当時の意匠を復原・改築した保存部分と、地上17階建てのオフィスとなる新築部分で構成されています。復原にいたるまでの経緯と建物の概要、今後の展望などをうかがいました。



【お話を伺った方】

(左) 東急不動産株式会社 都市事業ユニット 開発企画本部 伊藤 悠太 様  
(右) 鹿島建設株式会社 建築設計本部 栗間 敬之 様

## 創建当時の姿を目指し、現場の意見も取り入れながら丁寧に保存・復原

— 旧九段会館の保存・復原プロジェクトの概要について教えてください。

**伊藤様** 創建から90年が経過した旧九段会館は、2017年に3社のコンソーシアムでの保存・復原プロジェクトが発足。どこを残して復原するかは、国の検討委員会が定めた計画に沿って進めましたが、私たちも旧九段会館が歩んできた歴史を掘り下げ、さまざまな資料を紐解きました。旧九段会館がどのような歴史的価値がある建物で、どこを保存させてどこを新たに作り直すべきなのか、という点は特に重視しました。

— 解体の過程で創建当時の建築意匠が見つかり、計画を変更したと聞きました。

**伊藤様** 創建時から建物の所有や用途が変遷しているため、解体を進めていくと塗装の下から全く別の色や模様、素材が現れ、その度に残すべきかどうか考えながら

プロジェクトを進めました。創建当時の姿を復原するというのがプロジェクトのコンセプトだったので、昔の白黒写真や絵はがきを調べたり、国会図書館や当時の関係者が所有する資料を集めたりして、復原計画の参考にしました。ただ当時の写真は白黒やセピア色なので、いま残っているタイルなどの素材がどのように写っているかを基準として、他の素材はどのような色だったのかを想像・推測しながら丁寧に進めました。

**栗間様** 丁寧に解体していったからこそ見つかったものも多くあり、工事の過程で発見された創建当時の材料や歴史的価値のある素材は、そのまま保存もしくは一部を残すなどし、建造物の魅力を後世に引き継ぐことを目指しました。

## 最先端技術と豊かな自然を生かし開かれた場所に

— 一次世代オフィスをコンセプトの一つに掲



アイリスオーヤマは、主にエレベーターホールやトイレ、通路の照明器具を担当。建築意匠に合わせた器具製作・納品を行った。

げている新築棟は、どのような特徴がある建物になっていますか？

**伊藤様** 新築棟は「次世代のオフィスビル」をさまざまなところで実現できたと思います。例えば、オフィスエントランスのラウンジの窓ガラスには、センサーとAIで太陽の位置や天候に合わせて透過率を自動調整するスマートガラス「View Smart Glass」を設置するなど、最新鋭の技術は随所に採用しています。



— 一方で、九段会館テラスの大きな特徴は、お濠に面した立地ならではの圧倒的な自然が身近にあること。お濠周辺の木々など、もともと豊かな自然が存在します。それらを利用者にどう体験してもらえるかを考えた時、地下1階の食堂だったり、テラスだったり、屋上庭園だったりを設けることにしました。食事をする場所としてはもちろん、好きな場所を選んで働くことができ、かつ豊かな自然を感じられる環境が身近にあるのは、九段会館テラスの強みの一つですね。

## 照明器具のデザインにこだわることで全体的な空間をコーディネート

— 一館内の照明に関しては、どのような配慮・

工夫がなされていますか？

**栗間様** 旧九段会館が建てられた当時、設計者が空間とともに照明もデザインされていたようで、とても一体感があるという印象を受けました。ですので、私たちも照明をデザインすることで全体的な空間コーディネートをすることは意識しました。照明も建材と同じ考え方で、やはり素材感が大切です。いかにこの空間と調和して、違和感がない照明を選ぶかが大切で、アイリスオーヤマさんの照明器具もエレベーターホールなどに使わせていただきました。担当者の方には何度も現場に足を運んでいただき、しかも、製品を取り入れるメリットに加えて、想定し得るリスクもしっかりとご説明いただいたのは、状況の理解と善後策の検討につながり、助かりましたね。



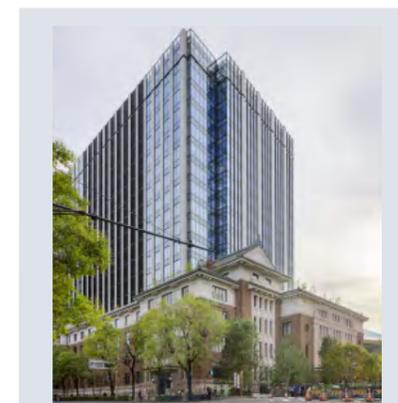
## 利用者や地域の方々が“健康”でいられる空間を提供したい

— 今後、九段会館テラスがどのような場所になってほしいとお考えでしょうか？

**伊藤様** 2019年7月に着工したのですが、ちょうどその直後にコロナ禍になり、オフィス不要論も唱えられました。私たちは、いかにしてオフィスに来たいと思えるような

空間を創出できるかが大切だと考えました。それが地下1階の九段食堂やクリニックモールです。九段食堂は、食材からこだわるとも料理のクオリティが評価されていることもあり、オフィスに入居するテナント従業員だけでなく、地域の方々にもリポートいただいていると聞いています。

— 私たちが九段会館テラスで目指すのは“健康経営”です。メディカルモールでは“未病”の解消を提供できるような仕組みも考えています。食堂とコラボレーションしたマルシェなど、エントランス前の広場を活用した企画も考えられます。この場所、この付帯設備があるからこそそのメリットは生かしていきたいですね。



【施設概要】  
設計 建築：鹿島・梓設計工事監理業務共同企業体  
施工：鹿島建設 様  
敷地面積：8,675.85㎡  
建築面積：5,123.02㎡  
延床面積：68,036.35㎡  
階数：地下3階 地上17階 棟屋3階

詳しい記事はこちらで読めます▶



## 既存器具を活用したLED化と一貫体制で 器具費用・施工費・廃棄費用の大幅削減を実現

ライティング

東京スカイツリーイーストタワー® 様  
[所在地] 東京都墨田区



東京スカイツリーに併設されているオフィスビルである東京スカイツリーイーストタワー®様は、開業から10年が経過した2022年、照明設備を全面改修しました。オフィスフロアはコンパクト蛍光灯からLED照明に切り替えるにあたり、照明器具の新規購入費と施工費、交換した器具の廃棄費用などのコストをいかに抑えるかが課題でした。そ

こでアイリスオーヤマは、既存器具の本体を活かして光源部分のみLED化できるLED交換キットを提案。施工にかかる工数を短縮し、既存器具の廃棄も減らせたことから、諸費用の大幅な削減につながりました。ほかにもエレベーターホールや、エレベーター扉上の照明のLED化を手がけました。今回、現場調査から照明器具の供給、施工までを

アイリスグループ内で完結。専任スタッフが一貫して担当することで、費用の課題解決、照明の省エネ、明るさの改善などを実現しました。

### ■主な納入器具

- ・LED交換キット グリッド照明用
- ・LED一体型ベースライト(ラインルクス)
- ・LED間接照明(シームレス)



LED交換キットの提案で既存器具を活かして光源部分のみをLED化。ほかにもエレベーターホールやエレベーター扉上のLED化で、明るさの改善や省エネ効果につながりました。

## アフターコロナに対応した人とロボットで共創する 「ニューノーマルサービス」を実現

ロボティクス

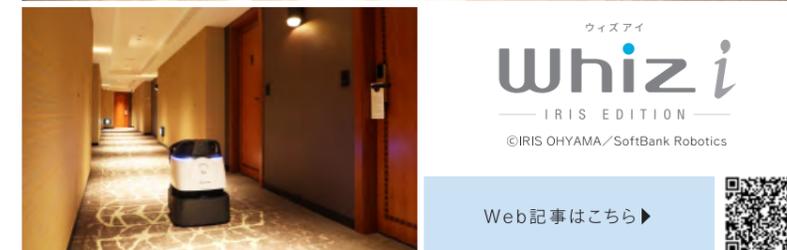
横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ 様  
[所在地] 神奈川県横浜市

上質なサービスと空間を提供し、国内外問わず宿泊客が訪れる横浜ベイシェラトン ホテル&タワーズ様。アフターコロナで人手不足が深刻化した一方、今まで以上に衛生的な状態を維持すべく、DX清掃ロボットを導入しました。1時間/日×2名分の清掃時間をDX清掃ロボットが代替し、清掃スタッフはその余剰時間で立面接触部分の除菌などを強化できました。清掃品質が向上したことで新しい生活様式に合わせた「ニューノーマルサービス」を実現し、これからも上質なサービスでお客さまをお迎えます。

### ■主な納入器具

- ・DX清掃ロボット Whiz i アイリスエディション

※「Whiz」の名称とロゴはソフトバンクロボティクスの登録商標です。



## 施設用観覧席とLEDビジョンの複合提案による さらなるスタジアム演出の向上へ

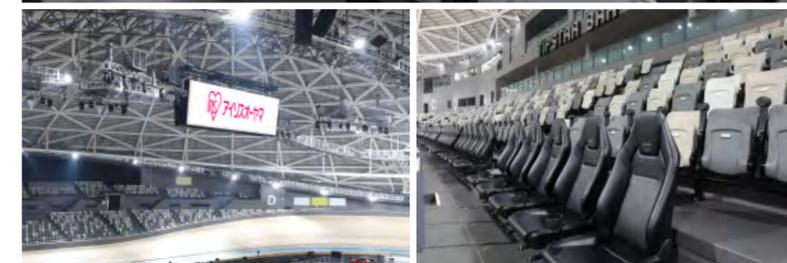
スポーツ施設

TIPSTAR DOME CHIBA 様  
[所在地] 千葉県千葉市

競輪競技が行われるTIPSTAR DOME CHIBA 様では、施設用観覧席とLEDビジョンの複合提案を具現化しました。観覧席は3色のモザイク柄のレイアウトで配置し、ドーム全体をより華やかに。さらに座面跳ね上げ式シートの採用で通路幅が広がり、スムーズな移動ができます。ドーム中央にあるLEDビジョンは、メンテナンス性と安全性を兼ね備えた設計で、迫力のある映像を流して臨場感あふれる空間を演出します。観戦者も競技者もスポーツエンターテインメントをより楽しめるスポーツ施設になりました。

### ■主な納入器具

- ・施設用観覧席
- ・LEDビジョン



ドーム中央にあるLEDビジョンからは、スピード感のあるレース映像が鮮明に映し出され、臨場感あふれる空間になりました。

# これからは我慢から“快適”に！ 2023年節電事情



昨年の原油高などのエネルギー供給問題に端を発して再度注目を浴びる省エネ・節電。企業は、電力ひっ迫に備えたデマンド削減や温室効果ガス削減、円安による経営への影響など、さまざまな要因から節電対策を迫られています。これまでの省エネ・節電の経緯と今後についてご紹介します。

## 省エネと節電の違いとは

省エネ・節電は、それぞれ「温暖化対策の省エネ」と「エネルギー安定供給のための節電」のように目的が違います。

省エネルギー（略して省エネ）、エネルギー資源を無駄なく使い、CO<sub>2</sub>排出量を減

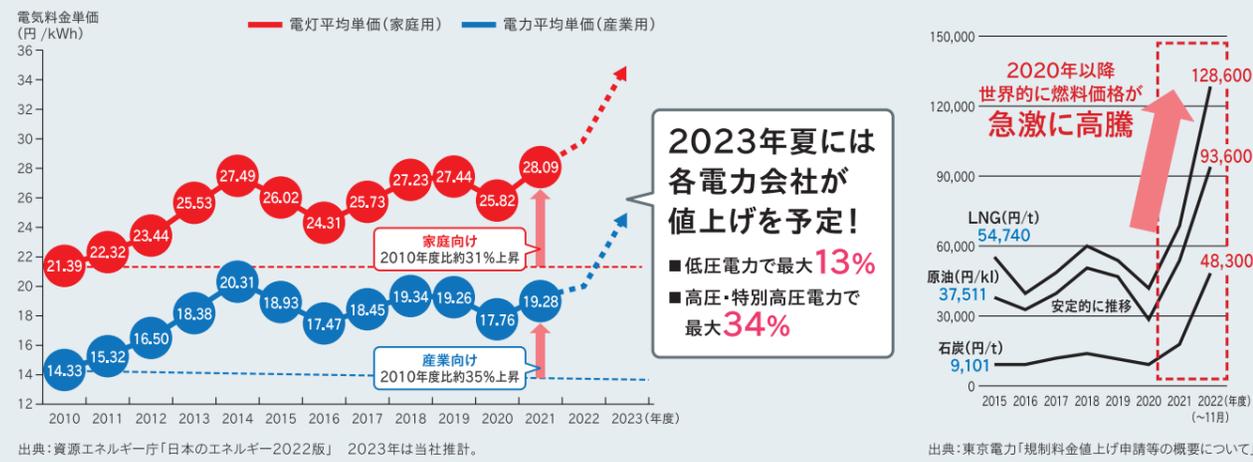
らす取り組み全般を指します。産業革命以降の大量消費社会で排出された温室効果ガスによる温暖化対策として、1992年の地球サミットで気候変動枠組条約が締結され、各国で省エネの意識が生まれました。その後京都議定書、パリ条約などを経て、具体的な温暖化対策のルールが決定されています。日本でも2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、効率的なエネルギー利用や自然エネルギーの推進など、各業界・企業で幅広い努力が行われています。

一方で節電は、ピーク時の電力消費量を抑えることで、石油・天然ガスの供給バランスが崩れたり、猛暑や寒波で電力需

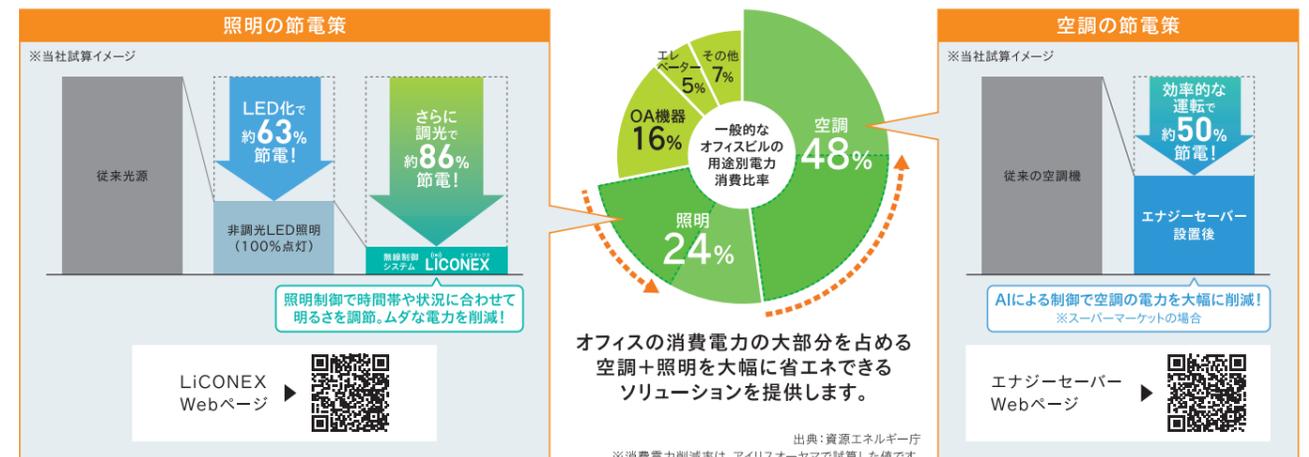
要が増えたりした際、停電リスク回避のために実施されてきました。昨今の日本では2011年の東日本大震災時の電力供給危機を乗り越えるべく節電が推進され、照明の間引き点灯や消灯、高効率なLED照明の推進、空調設定温度の引き上げなど、さまざまな取り組みが官民問わず行われてきました。2022年には国際情勢悪化によるエネルギー供給減や、原油などの原材料の高騰、冬季電力需要の高まりなどから、節電の重要性が再認識されています。

省エネ法では年間の電力使用量削減を基準としているため、ピーク時のみならず継続的な節電が省エネにつながります。

## 電気料金平均単価の変化



## アイリスオーヤマが提供する省エネソリューション



## 企業の省エネ・節電への取り組み

SDGsやCSRの観点から各企業で省エネの重要性が高まる中、原油高や円安に起因するコスト増・経営への影響による省エネ、特に節電対策は喫緊の課題です。しかし、LED照明の導入や最新の高効率な機器への入れ替えといった設備投資から、こまめな消灯・空調の設定温度の見直しなど現場レベルでの細かい対策まで、従来の企業努力は限界が見えてきたとも言えます。特に、人手不足にあえぐ現状では、快適さを損なう職場環境や働く人に犠牲を強いる過度な省エネ・節電策は、人材確保や店舗での集客の面から大きな課題になり得るでしょう。そのため、現在では多くの企業でこれまで以上に省エネ・節電するためにはどうしたら良いのか試行錯誤が続いています。

## 照明の省エネ化に 取り組んできた アイリスオーヤマ

アイリスオーヤマでは、法人向けLED照明事業での省エネルギーなLED照明開発を通して、震災後の節電需要や各企業のカーボンニュートラルへの対応を後押ししてきました。蛍光灯や白熱電球など従来光源のLED化はもちろんのこと、現在では震災後の設置から約10年を経たLED照明を、より高い省エネ性能を持った最新の

LED照明に切り替える「LED to LED」を推進。また、照明制御に適した無線制御システム「LiCONEX(ライコネックス)」を開発し、空間のさらなる省エネ・節電を促進しています。LiCONEXは照明の明るさや点灯状況をその空間や時間帯、利用用途に最適な状態に調節することで、空間の快適性を損なわず、大幅な節電が可能です。タブレットから簡単に照明を操作でき、照明器具1台ごとの操作、自動スケジュール制御や複数フロアをまたいだビル全体の照明器具の制御・管理、さらには遠く離れた照明の遠隔管理などができ、無駄を省いた無理のない節電を実現します。また、LiCONEXは照明間に張り巡らせたネットワーク網と双方向通信することで、照明の点灯状況や消費電力データを収集して細かく把握でき、経費削減の指標として利用できます。温湿度センサーや二酸化炭素濃度センサーなど外部機器との連携も可能で、室温や空間の状況をモニタリングすることもできるため、快適な環境を維持しながらも自動化&省人化が可能です。空間のコンディションを可視化することで、空調温度の適正化を促すなど省エネの促進が期待できます。

## 空調機器の大幅な節電を 実現する 「エナジーセーバー」

そして、今年3月には、空調機器に取り付け、AIが運転を制御し大きな省エネ効果

を実現する「エナジーセーバー」を発売しました。従来の空調機器では、運転時のコンプレッサーの稼働がアバウトなため、設定温度を上下する幅が大きく、運転・停止を繰り返すことで無駄なエネルギーを浪費していました。自動車の運転に例えると、急アクセル、急ブレーキを繰り返して燃費が悪い状態です。エナジーセーバーは既存の空調機器に取り付けてAI制御で繊細な運転を促します。言わば空調のアクセルとブレーキの凸凹を小さくして温度の上下幅を減らすことで、電力消費を最小限に抑えるという仕組みです。施設の電力消費の大部分を占める空調を大きく省エネし、電気代コストの削減とデマンドの抑制を実現します。

## 今後の省エネ・節電

地球環境の将来に多大な影響を及ぼす温暖化に対しては、企業も個人も当事者意識を持って積極的に取り組んでいかなければなりません。気候変動による猛暑や寒波によって電力供給がひっ迫すること、国際情勢や経済動向など諸々の影響を受けてエネルギー供給が不安定化する事態も十分考えられます。企業としては、危機を迎える前に可能な省エネ・節電策を継続して行っていくことが求められ、さらに人材確保の面から職場環境の快適性との両立が必要となります。常に最新の省エネ・節電策の情報を収集しながら、最善の省エネ・節電策を実行し続けていくことが欠かせないと言えるでしょう。

NEW  
TOPIC

## 既設の空調機に取り付けて30～70%の省エネ\*1 「エネルギーセーバー」新発売

今までにない省エネを実現  
空調最適化省エネソリューション

日本  
独占販売  
Japan  
exclusive sales

# エネルギーセーバー

PLASMA GUARD  
ENERGY SAVER  
POWERED BY COOLINGMAX

IRIS EDITION  
IRIS OHYAMA

AIが空調の温度センサーを  
コントロールして運転を最適化

空調  
室外機

従来の  
電気料金

30～  
70%<sup>最大</sup>  
省エネ<sup>\*1</sup>

導入後の  
電気料金

夏季冷房消費電力の削減の一例

### AIで空調の運転を最適化して 快適なまま省エネに!

室内温度を検知し、空調の運転を制御することで電気使用量を大幅に削減する、国内初\*2の省エネソリューション「エネルギーセーバー」を発売しました。

国内ではエネルギー原料の価格高騰により電気料金値上げが相次ぐほか、電力不足により「電力需要ひっ迫注意報」が発令されるなど、国を挙げた節電対策が急務になっています。中でも空調の電気使用量は、施設管理コストの中でおよそ30～50%と高い割合を占めています。しかし今夏も厳しい暑さが予想される中、冷房の設定温度を上げる、服装を工夫するといった従来の節電策だけでは限界があります。

「エネルギーセーバー」はAIを搭載し、センサーが室温の変化を細かく測定し、室外機の必要以上の稼働を抑えることで電力使用量を大幅に削減します。室温は快適なままに冷房時で約30～70%、暖房時で約15～20%の電力使用量の削減\*1が見込めます。

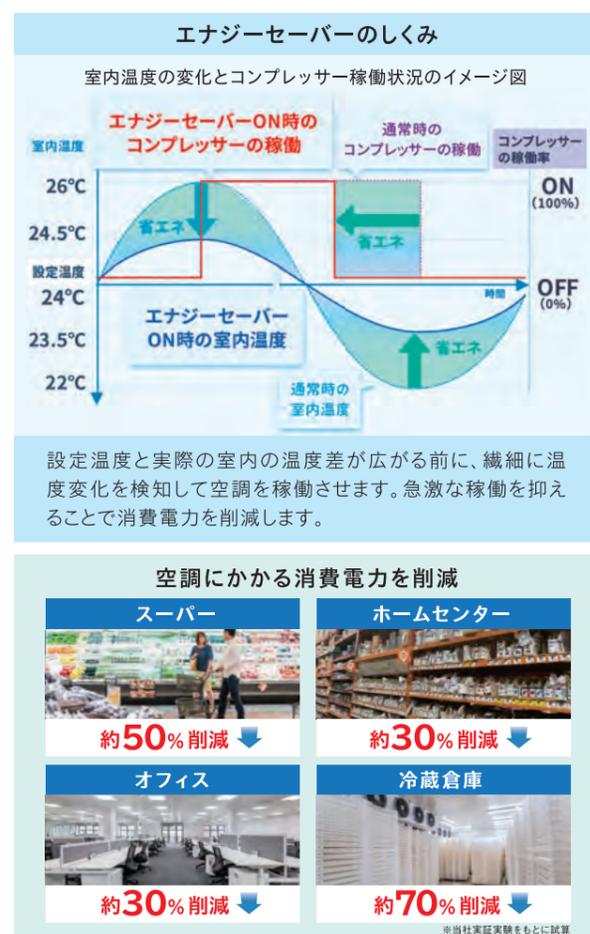
メーカーを問わず既設の空調機に取り付けられることが特長で、強制的な運転を止める制御ではないので空調機への負荷もかかりません。

現在の社会情勢を考えると、今後も電力需要と電気使用料金は高まる可能性があります。今後もエネルギーセーバーの販売・普及により施設の省エネ・節電を後押しします。

\*1 当社調べ。スーパーマーケット、ホームセンターなどの小売業、冷蔵倉庫など10ヶ所へ導入して実証検証を行い、導入前後の電気使用量を比較。施設や状況により異なります。

\*2 当社調べ。2023年3月1日時点。

エネルギーセーバーの詳細はこちらからご覧いただけます▶



## 住宅用照明の省エネ化と省資源化が評価され 2022年度省エネ大賞を受賞

カーボンニュートラルの  
実現を目指して  
8年連続受賞

2022年度  
省エネ大賞  
(製品・ビジネスモデル部門)  
賞状・表彰状を授けられた製品

2022年度省エネ大賞

### 高効率GX53ランプ交換型住宅照明シリーズが 審査委員特別賞を受賞

省エネ性にすぐれた製品や事例に対して授与される2022年度省エネ大賞(主催:一般財団法人 省エネルギーセンター)で、当社の「高効率GX53ランプ交換型住宅照明シリーズ」が製品・ビジネスモデル部門『審査委員特別賞』を受賞しました。

住宅用のLED照明は、長寿命と低価格の観点から器具とランプが一体となった「光源一体型」が普及してきました。しかし、光源一体型ではランプ交換ができないため省エネ性能が高い製品が発売されても交換が難しく、さらに故障や寿命を迎えた際に器具の廃棄が発生することが課題とされてきました。

「高効率GX53ランプ交換型住宅照明シリーズ」は、メンテナンス性が高いランプ交換型でありながら、放熱設計やLEDチップの選定と配置の最適化による低コスト化、発光効率の向上に成功し、ダウンライトにおいては光源一体型の1.4倍\*3の発光効率を実現しました。また、12種類の住宅用照明に対応できる均一発光ランプ構造を採用し、一室多灯式のニーズにも柔軟に対応します。

今後も住宅はじめさまざまな施設の省エネに寄与するとともに、地球環境に配慮した製品開発で、省エネによるカーボンニュートラル社会の実現を目指します。

\*3 当社の光源一体型商品との比較。光源一体型:90.0lm/W、高効率GX53ランプ交換。  
\*4 当社の光源一体型商品との比較。光源一体型:5.0W、高効率GX53ランプ交換型ダウンライト。  
φ100白熱灯器具60形相当・非調光3.4W。

2022年度省エネ大賞受賞の詳細はこちらからご覧いただけます▶



### 3つのポイント

#### 1 省資源・省メンテナンス

交換時は器具を活かしてランプのみを交換すればよいので簡単であると同時に、廃棄物やメンテナンスコストの削減が可能です。

#### 2 発光効率 約1.4倍\*3の省エネ性能

当社の高効率光源一体型器具に比べて、定格消費電力は約32%削減\*4します。少ない電気量でも十分な明るさを確保でき、節電に貢献します。

#### 3 さまざまな住宅用照明に対応

屋内・軒下・屋外用で12種類の照明器具に対応しているため、部屋やエリアの雰囲気合わせたコーディネートが可能です。

### ランプ交換で設置後でも光色・明るさの変更が可能



NEW  
PRODUCT

## 配膳、運搬作業の業務改善に サービスロボット2機種を販売開始



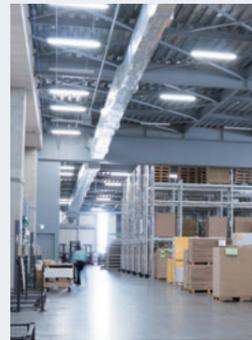
### 【Keenbot T8 特長】

- 狭い通路でも走行可能  
高性能センサーで最小通過幅55cmに対応
- ドリンクなどの運搬も安心  
最適な加減速の自動制御により実現
- 居酒屋・ラーメン店などに最適  
汁物やドリンクを安定して運搬可能



### 【Delivery X1 特長】

- 初めての導入に最適  
月額レンタル(3年)¥79,800\*3  
安心のお求めやすい価格設定
- 使いやすい  
トレイ段数、間隔を変更可能
- 飲食店から工場まで対応  
一度に最大30kg\*4の積荷を運搬できる



## 人手不足解消を さまざまな業界で後押し

アイリスオーヤマは新たに配膳・運搬ロボット「Keenbot T8 アイリスエディション\*1」と「Delivery X1 アイリスエディション\*2」を発売しました。

「Keenbot T8」は当社の配膳・運搬ロボットの中で一番小型なモデルで、居酒屋やラーメン店などの通路幅が狭い場所でも走行できます。加減速を自動で制御できるのでドリンクなどの運搬も安心です。

「Delivery X1」は初めてのサービスロボットに最適なエントリーモデルです。シンプルな機能ながら最大30kg\*4の積載量で、飲食店はもちろん工場倉庫や医療施設での荷物運搬にも活躍します。

人手不足解消や業務効率化を実現する配膳・運搬ロボットは、飲食店を中心に医療福祉施設、ホテル、工場などさまざまな施設で需要が高まっています。ラインアップの拡充でこれまで以上に多様な業界ニーズに対応していきます。

### 配膳・運搬ロボット その他ラインアップ

大容量の配膳・下膳はおまかせ スタイリッシュで小回り抜群



\*5 「Keenbot T8 アイリスエディション」の販売開始に伴い、当社で取り扱ってきた配膳・運搬ロボット「Keenbot アイリスエディション」の名称を「Keenbot T5 アイリスエディション」へと変更しました。

\*1 以下Keenbot T8 \*2 以下Delivery X1 \*3 別途、初期費用が必要です。 \*4 【トレイ別】各段7.5kgまで。ご利用の環境やご利用方法によって積載可能な重量が異なります。

NEW  
PRODUCT

## 映像演出やサイネージにも利用できる 高輝度プロジェクターを新発売

### プロジェクターで壁や床、柱などを 新しい情報発信の場に

アイリスオーヤマではレーザー光源プロジェクターの新商品として6500lmの明るさを持つ「IP-DU650W」と、短焦点レンズ搭載の「IP-DU550SW」の2機種を発売しました。

プロジェクターは近年、店舗やショールーム、ホテル、ミュージアムなどでも活用されており、今回発売した2機種はそうした演出・サイネージ用途にも最適な製品です。

「IP-DU650W」はスタンダードタイプで最も明るい6500lmの高輝度モデルです。広い会議室や、周りに照明やディスプレイなどがある店舗・ショーウィンドウなどでもくっきり映像を投写できます。

「IP-DU550SW」は5500lmの明るさがあり、スクリーンのすぐ近くにプロジェクターを設置できる短焦点レンズを採用しています。体育館のステージ上やレストラン、ミュージアムなど、スペースが限られる環境でも設置が可能です。さらに両機種ともWUXGAに対応しているので、高画質な映像を投写できます。

活用の用途が広がる映像機器に対して、アイリスオーヤマでは、さまざまな場所に適した機種種の開発・販売を進めています。ラインアップ強化で、これまで活用できなかったスペースに新たな価値を提供してまいります。

プロジェクター総合サイトはこちら▶



### IP-DU650W

6500lm WUXGA

- 6500lmの明るさと高解像度WUXGAに対応。
- 暗くできない場所でも明るくはっきり投写できる。



### IP-DU550SW

5500lm WUXGA

- わずか1.1mから100型投写できる短焦点プロジェクター。
- 体育館のステージや店舗などスペースが限られている場所に。

### 納入事例



#### ユニディ ラゾーナ川崎店(神奈川県)

ホームセンターであるユニディ ラゾーナ川崎店では、プロジェクターを床面に向けて投写したり、ショーウィンドウにスクリーンフィルムを貼って投写したりと、プロジェクターを活用した先進的な店舗演出を行っています。これまで商品在庫などを置いていたレジ奥の壁には、キャンペーン情報などを大画面で投写し、レジを待つ大勢のお客さまへ一度に告知できる新たな情報発信の場が生まれました。

NEW  
TOPIC

## 飲酒運転の根絶を目指すために アルコール検知器協議会に加入



アルコール検知器協議会の会員企業です

### 運転者と管理者の負担を 軽減するアルコールチェッカー

2022年6月からアルコール測定結果を自動で記録するアルコールチェッカーを販売しているアイリスオーヤマは、この度「アルコール検知器協議会」に正式加入しました。同協議会は2015年に発足した非営利団体で、さまざまな飲酒問題の根絶を目指すため、アルコール検知器の品質向上・普及活動を行っています。

当社も団体の理念に共感し、運転者と管理者の負担を軽減できるアルコールチェッカーの普及を通じて飲酒運転の根絶に尽力してまいります。

**IRIS OHYAMA  
アルコールチェッカー**

管理業務を効率化!

※画面は開発中のものです。

管理者のメリット	運転者のメリット
<ul style="list-style-type: none"> <li>自動記録で業務時間を大幅短縮</li> <li>各拠点のデータを一括管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>かんたん操作!約40秒で検査完了</li> <li>どこからでも記録できる</li> </ul>

アルコールチェッカーWebページはこちら▶

NEW  
TOPIC

## ロボットを使ってみたい!でも不安...という方に! 「初めてのロボットお試しキャンペーン」

### ロボットを実際に無料で 体験できるキャンペーン

当社のサービスロボットを1週間無料で体験できる期間限定キャンペーンを行っています。このキャンペーンでは、お客様の店舗・施設にて実際にロボットを運用し、業務効率改善やコスト削減の効果を体験し、導入をご検討いただけます。清掃ロボット1機種、配膳・運搬ロボット4機種から、ご希望の用途と施設にあったロボットをお選びいただけます。ロボットの導入をご検討されている方はぜひこの機会にお試しください。

キャンペーンページはこちら▶



ビジネスにもっと価値ある時間を  
**初めての  
ロボットお試しキャンペーン**

【キャンペーン期間】2023年6月30日まで  
※キャンペーンのお申し込み方法、適用条件・注意事項、対象機種の詳細情報などはキャンペーンページをご覧ください。

#### キャンペーンで体験できること

ロボットの貸し出し <b>無料</b>	ご利用環境の調査 <b>無料</b>	ご利用の促進 コンサルティング <b>無料</b>	実施後の 検証レポート <b>無料</b>
------------------------	-----------------------	---------------------------------	-----------------------------

#### お客さま事例

## 「ピンチをチャンスに」 アフターコロナを見据えた オフィス移転

ハドラスホールディングス株式会社 様(東京都)

ハドラスホールディングス株式会社 様はフリーアドレスを導入し、部署の垣根を越えたコミュニケーションが取れるオフィスに変わりました。アイリスチトセが内装デザインや施工などを行ったオフィス移転プロジェクトをご紹介します。



【お話を伺った方】  
ハドラスホールディングス株式会社 代表取締役社長  
**山本 英明** 様

#### 改めて感じたリアルの重要性

コロナ禍でテレワークを実施した際に、リアルに顔を合わせるこの重要性を改めて感じられたため、新しいオフィスでは、コミュニケーションを取りやすい空間にすると同時に、感染対策などで社員の安全を守ることを、ゾーニングや設計により両立することができました。

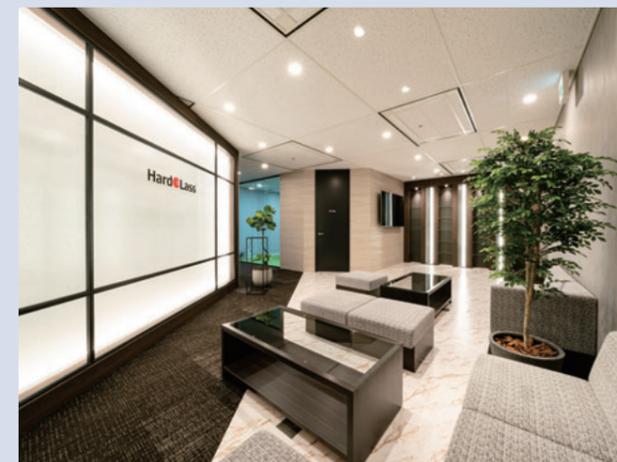
当初はフリーアドレスを導入するイメージはなかったという同社でしたが、移転の際にはフリーアドレスを導入し、部署の垣根を越えたコミュニケーションを取れる空間となりました。

#### デザイナーコメント



アイリスチトセ株式会社 チーフデザイナー  
**佐藤 亜弓**

社員のことをとても大切に思う、社長の御意志をいかに形にするかが課題でした。何度か行った打ち合わせの中で、その想いや考えをしっかりと汲み取り、それに応える提案をクイックに行うことを心掛けておりました。期間がタイトなプロジェクトでしたが、お客さまとアイリス社内が一丸となり、良い空間をつくることに全力で取り組んだ案件でした。その結果、お客さまにとってもご満足いただき大変良かったと思います。

事例の詳細は  
こちらから

#### オフィス移転のきっかけ

旧オフィスでは会議の際に会議室を別途借りる必要があるなど、少し自由が利かないという課題があり、移転することで社員にとってより良い環境にできないかと考えられていました。そんな時に偶然アイリスグループ東京本部のライブショールームにご来社され、同オフィスの設計デザインがイメージしていたものとマッチしていたことからアイリスチトセとの取り組みがスタートしました。

社員にとって快適に働きやすい環境を作りたいという代表取締役社長 山本英明 様の想いからスタートした本プロジェクトですが、新型コロナウイルスの影響でテレワークが浸透し、一時は移転すべきか悩まれていました。しかし、山本社長の「ピンチをチャンスに変える」というマインドのもと、このコロナ禍をチャンスと捉えオフィス移転を決断されました。



[ 2015年発売 ]

## ふとん乾燥機 カラリエ

「毎日使っても負担が少ないものをベストに」  
コンパクト・軽量なふとん乾燥機を開発

アイリスオーヤマでは、2015年にマット不要でふとんを手軽に温められる「ふとん乾燥機 カラリエ」を発売しました。従来のふとん乾燥機はふとんを温めるために大きなマットが必要で、本体も大きく重たいものでした。「毎日使っても負担が少ないものをベストに」という考えのもと、当時の業界最小・最軽量約1.7kgのコンパクトなボディを実現。簡単に持ち運ぶことができ、その後シリーズ販売台数600万台を突破するヒット商品になりました。現在では、居住空間になじむデザイン性の高いインテリアタイプや2組のふとんを一度に温められるツインノズルタイプなど使い方や好みに合わせたラインアップを販売中。今後もユーザー視点でのものづくりを大切に、生活者に寄り添った製品開発に取り組んでいきます。



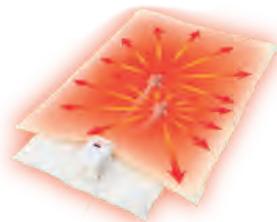
Present

ふとん乾燥機  
カラリエ

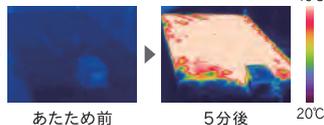
## ハイパワー ツインノズル



速暖5分<sup>\*1</sup>



たった5分で  
ここまであたたまる<sup>\*2</sup>



あたたため前

5分後

速乾30分<sup>\*1</sup>



付属のアタッチメントで  
靴乾燥も可能に



寝汗で湿ったふとんも清潔に

寝汗などで湿ったふとんを温風で乾燥し、汗やカビの臭いを軽減します。常に清潔な状態を保つことが可能に。

※〈試験機関〉弊社調べ。弊社臭気判定士監修。〈試験方法〉シングルサイズ敷きふとん中央にニオイ成分を付着後ふとん乾燥機にて60分温風運転し、臭気の改善を6段階臭気強度表示法により評価。実使用時の効果は、使用環境、条件により異なります。

\*1 シングルサイズのふとん2組 \*2 室温20℃、敷きふとん(ポリエステル)・掛けふとん(ポリエステル)。ターボモード使用時。条件により異なります。

アンケートにお答えいただいた方に抽選でプレゼント!

ふとん乾燥機 ハイパワー ツインノズル  
FK-WH1

抽選で  
3名様に  
プレゼント

応募はこちらから

応募の締め切りは 2023年6月30日(金)です。  
<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/btobinformation26/enquete/>  
※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



## アイリスオーヤマ株式会社 B to B 事業グループ

〒105-0013 東京都港区浜松町2-3-1 日本生命浜松町クレアタワー19F

建設業許可番号: 国土交通大臣 許可  
・建築工事業(特-2) 第24732号  
・土木工事業(舗装工事業、鋼構造物工事業、内装仕上工事業(特-3) 第24732号  
・大工工事業、建具工事業、とび、土木工事業(特-4) 第24732号  
・電気工事業(般-2) 第24732号  
届出電気通信事業者 I-02-00944

●製品の色は印刷のため実際の色とは異なる場合があります。  
●製品の仕様・発売日は予告なく変更することがあります。

本誌に掲載の写真・文章・イラストの無断転載はご遠慮ください。

本誌掲載内容、製品のお問い合わせは  
TEL 022-253-7095

本誌掲載の詳しい内容は当社ホームページでご覧いただけます。

アイリスビジネスインフォメーション

検索



ビジネスの旬な情報や納入事例をお届けしています

アイリスオーヤマ B to B 事業グループ で検索!

